

各関係機関長 様

高知県病虫害防除所長

病虫害発生予察情報について

病虫害発生予察注意報第2号を送付します。

令和7年度病虫害発生予察注意報第2号

果樹カメムシ類(チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ)

1 対象作物 カンキツ類(温州ミカン、ポンカン等)

2 発生地域 県内全域

3 発生時期 9月下旬以降

4 発生程度 多

5 注意報発令の根拠

- (1) 県内4地点で実施している果樹カメムシ類のフェロモントラップ調査で、県東部、中央部、西部で9月第5半旬から平年を上回る発生が見られ、10月に入ってから西部では急増した(表1)。また予察灯でも10月第3半旬のツヤアオカメムシ(図2)の捕獲数は、四万十市では28頭(平年10頭)と平年に比べ多い。
- (2) 令和7年10月9日発表の四国地方1か月予報では、気温は平年より高いと予想されており、今後果樹園への飛来および加害が増加するおそれがある。

6 防除対策

- (1) 果実を吸汁されると商品価値が低下するので、発生を確認したら早めに防除する。飛来時期や飛来量は地域や園地による差が大きいので、園内外をこまめに見回り、早期発見に努めるとともに、飛来が確認された場合には、収穫前日数に注意し速やかに薬剤による防除を実施する。
- (2) 園地への飛来は、曇天で湿度が高く夜温の高い日に多くなる傾向がある。現在、誘殺数が平年と大差ない中西部でも、今後、平年より高い気温の予想から活動が活発となり、チャバネアオカメムシ(図1)、ツヤアオカメムシ(図2)等が果樹園に多く飛来する可能性があるので、園地への飛来状況を早期に把握し、被害防止に努める。
- (3) 果樹カメムシ類のフェロモントラップによる誘殺数の推移は、高知県病虫害防除所のホームページ(<http://www.nogyo.tosa.pref.kochi.lg.jp/?sid=2016>)に掲載している。防除等は県の「病虫害防除指針」(<https://www.nouyaku-sys.com/noyaku/user/haishinfile/list/kochi>)を参照し、薬剤の使用に当たっては農薬使用基準を遵守する。

7 他県の状況

9月以降、徳島県、佐賀県、熊本県、三重県で注意報が発令されている。

表1 果樹カメムシ類のフェロモントラップ誘殺数(9月第5半旬～10月第2半旬)

	9月			10月		計
	半旬	5半旬	6半旬	1半旬	2半旬	
東部	本年	16	14	18	32	80
	平年	8.1	8.3	8.6	8.3	33.3
中央部	本年	11	14	23	85	133
	平年	8.0	12.3	10.4	6.2	36.9
中西部	本年	25	33	72	75	205
	平年	43.0	69.5	74.7	53.9	241.1
西部	本年	121	340	1,222	1,134	2,817
	平年	53.7	49.0	36.4	15.9	155.0

東部:安芸市井ノ口、中央部:香美市土佐山田町宮ノ口、中西部:須崎市浦ノ内、西部:四万十市竹島

誘殺数はチャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ、クサギカメムシの合計

平年値は平成27年～令和5年の9か年の平均



図1 チャバネアオカメムシ



図2 ツヤアオカメムシ

お問い合わせは、病害虫防除所(TEL:088-863-1132)または環境農業推進課(TEL:088-821-4861)まで